



このコーナーでは、特定非営利活動法人や市民活動団体などの活動を紹介していきます。

思いをカタチに 地域づくりの輪 旧穴山堰を語り継ぐ会



水文化遺跡旧穴山堰を語り継ぐ会

阿部 市郎 会長(77)

平成21年4月から25年3月まで胆沢区の愛宕地域振興会長を務め、地域に根付く活動に尽力。28年の語り継ぐ会の設立後も、そのおらかな人柄で、胆沢ダム雄大な景色とともに、地元民や観光客を温かく迎えている。

水のありがたみを若い人たちに知ってもらい、後世まで語り継いでほしい。そう熱く語ったのは「水文化遺産旧穴山堰を語り継ぐ会」の阿部市郎会長です。旧穴山堰は約500年前(諸説あり)、前沢白鳥地区への通水を目的に開削された水路であると伝承され、胆沢平野の水との苦闘の原点である農業用水施設であり、貴重な水文化遺産です。また、胆沢扇状地に水を引き入れた最古の用水堰とされていますが、いつ、誰が、どのように作ったのか、いまだ多くの謎に包まれています。胆沢ダムの着工で下流展望公園などが封鎖され、いつしか地域からも忘れ去られそうになった旧穴山堰。しかし、水を求め続けた先人の努力と苦労を忘れてはいけな

い。平成28年5月、地域住民などにより同会が設立されました。現在の会員数は17人(男12・女5)。28年度は既存の説明板の更新や誘導案内看板を設置し、年3回の草刈りや落ち葉の除去などの環境整備を行いました。設立2年目となる本年度は、市の市民提案型協働支援事業補助金を活用し、現地見学会と座談会を4月30日に開催。同会の副会長である佐々木いく子元奥州市学芸員が基調講演を行い、約50人の参加者は謎とロマンに満ちた話に目を輝かせていました。また、旧穴山堰に関するパンフレットを新調。奥州湖交流館などに配架し、来館された人へ情報発信を本格化させるとも

人をつなぎ、時をつなぐ
同会の今後の展開について、阿部会長は「会員数を増やし活動規模の拡大を目指すのではなく、末永く次世代に語り継がれるよう、地道な活動を継続したい。そして一つでも多くの謎の解明にあたりたい」と語ります。同会が設置した案内板は武兵衛穴出口までのルートを案内するもの。パンフレットを片手に多くの人が訪れ、貴重な水文化遺産である旧穴山堰について理解を深めてくれることを望んでいます。



武兵衛穴出口で先人の土木技術の高さを説明

旧穴山堰を語り継ぐ パンフレット

旧穴山堰のことを知りたければ、これが必携。先人の苦勞を受け継ぐ、「語り継ぐ会」の思いが詰まっています。

副会長の佐々木いく子さん

お知らせ Information 旧穴山堰を語り継ぐ企画展

- 期間 6月25日回まで 《開催中》
- 内容 絵図・写真パネル・発掘調査資料展示など
- 時間 午前9時～午後4時半
- 場所・問い合わせ 奥州湖交流館(胆沢区若柳字馬留81-1、☎2383)



市が実現に向けて取り組んでいる「国際リニアコライダー(以下、ILC)計画」について最新情報をお届けします

希望の ひかり

第42回



奥州宇宙遊学館の外観

奥州宇宙遊学館で ILCを学んで遊ぼう

奥州宇宙遊学館は、日本最初の国際的な観測所である緯

度観測所の旧本館(1921年建設)を再構築し、交流学習館として生まれ変わった施設です。場所は、国立天文台水沢VLB I観測所の敷地内にあります。その名の通り、四次元デジタル宇宙シアターなどで、最新の宇宙や天文について楽しく学べる施設です。ILCの原理や仕組みなど、分かりやすく解説したパネルや、衝突実験モデル模型などを展示しており、子どもからお年寄りまで広く学ぶことができます。



この4月にリニューアルした展示室

- ◎主なILC関連展示
 - ・ILC衝突実験モデル(衝突実験装置)
 - ・クライオモジュールの断面図
 - ・ILC建設候補地である北上山地の全景パノラマ写真
 - ・岩手県の地質地図 など

ILC出前授業・出前講座
市では、毎年市内の小中学校を対象に、ILCについての理解を深めるため出前授業を行っています。昨年度は約1800人の児童生徒が授業を受けました。本年度も実施する予定です。また、市民の皆さんにILC計画を理解していただき、ILCの受け入れ機運を盛り上げるため、市職員を派遣する無料の出前講座を実施しています。希望される場合は、市ILC推進室までご連絡ください。



ILC出前講座の様子

- 対象 市内の団体など
- 内容 ILCの概要や期待される効果を講演 など
- 問い合わせ・申込先 本庁 ILC推進室(内線415)

岩手県立大学 ILCキャラバン

県立大学や高エネルギー加速器研究機構(KEK)の研究者がILCの誘致が実現した場合の地域への影響について分かりやすく説明するとともに、外国人研究者と親しみやすくなるよう英語の歌を歌ったりします。講演料は無料。詳しくは市ILC推進室へお問い合わせください。

■対象 50~100人の団体など

■内容

- ①「ILCが東北にやってくる」(30分)
～ILC計画の概要と誘致決定後は地域がどう変わるか～
- ②「外国人の住む街に」(40分)
～ILCに携わる外国人がスムーズに地域に溶け込むためには～
- ③「英語で歌おう」(40分)
～英語に馴染む契機になるような有名な曲を英語で歌う～

本コーナーでは、ILC計画について皆さんの質問にお答えします。電子メール、ファクスでお気軽にご質問ください。
■問い合わせ 本庁 ILC推進室(内線415) ☎2383 ☒ilc@city-osnu.iwate.jp